

一般社団法人山口県医師会平成26年度第17回理事会

平成26年12月11日(木) 午後5時～午後8時22分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・林・加藤・藤本・今村常任理事、沖中・香田・中村・清水・原・船津理事、山本・武内・藤野監事

協議事項

1 第3回都道府県医師会長協議会の提出議題について

清水理事提案による「アウトソーシングによる保険者のデータヘルスの取組み」に関する議題について意見交換を行い、最終案を次回理事会で再協議することとなった。

2 地方単独医療費助成事業の審査支払事務について

山口県では、「乳幼児医療」「一人親家庭医療」「心身障害医療」の公費助成にかかるすべてのレセプトを紙請求書により国保連合会が事務処理をしている。数年前より各方面から、社保分を支払基金、国保分を国保連合会が事務処理することにより、電子化による合理化を図るための制度変更の必要性について要望されていることから、保険請求の合理化を目的として、三師会の連名による「要望書」を地方自治体へ提出することが決定した。

3 日医第5回ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」について

標記に関する日本医師会からのアンケート調査に、ワークショップのテーマ候補を「保険診療にかかわるピアレビュー」とし、採用された場合は、担当常任理事が本県の取組みを発表することが可能である旨の回答をすることが決定した。

4 平成26年度日臨技、山口県臨床検査技師会主催「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」に対する後援について

山口県臨床検査技師会より標記講習会への後援依頼があった。厚生労働省医政局長通知（医師及び医療関係事務職員等との間等での役割分担の推進）を受けての全国的な取組みであるという観点から、後援を承諾することが決定した。

5 第23回世界スカウトジャンボリーへの支援について

世界スカウトジャンボリー山口県支援委員会委員長である山口県知事より、標記大会への支援（寄附）依頼があった。本会としては、子どもを対象とした世界最大のイベントであるとともに、未来を担う青少年の健全な育成に繋がる大会であり、世界に大きく羽ばたく青少年が誕生することを期待し、100万円の支援をすることが決定した。

6 レノファ山口FC 2015 シーズン法人サポーターの協力要請について

レノファ山口FCより、「2015 シーズン法人サポーター」の会員登録の協力要請

があった。県内唯一のプロサッカーチームを県民の力で育て上げ、J2、J1 リーグへと飛躍し、県民から愛着を持たれることで若者の県外流出防止にも繋がり、ひいては、山口県の活性化に寄与することを期待して、サポーター登録することが協議された。一般社団法人としての株式会社支援の可否、法人運営に関わる事項等を確認し、次回理事会で再協議することとなった。

7 「おぎゃー献金募金型自動販売機」の設置について

山口県産婦人科医会より、社会貢献の一環として、心身障害児のための施設や心身障害の予防の療育等に関する研究を補助するための基金である「おぎゃー献金」の募金型自動販売機の設置依頼があり、設置を承諾することが決定した。

報告事項

1 郡市医師会労災・自賠責保険担当理事協議会（11月20日）

「労災保険レセプト請求のオンライン化の推進」等について山口労働局から説明後、交通事故医療を取巻く状況等について協議を行った。（萬）

2 郡市医師会地域医療担当理事協議会（11月20日）

難病の患者の医療等に関する法律が平成27年1月1日から施行されることから、山口県健康増進課より難病制度の改革に伴う指定医療機関、難病指定医及び協力難病指定医の指定事務の流れ等について説明が行われた。また、新たな財政支援制度（地域医療介護総合確保基金）「医療・介護サービス提供体制改革関連」、平成26年度実施の基金事業における医師会関連新事業及び地域医療ビジョンについて県担当課（室）より説明が行われ、その後、河村専務理事より本会の地域包括ケアの取組み等について説明を行った。（弘山）

3 医事案件調査専門委員会（11月20日）

診療所1件の事案について審議を行った。（林）

4 第3回山口県高齢者保健福祉推進会議（11月20日）

第五次やまぐち高齢者プランの概要について協議を行った。（河村）

5 山口県感染症健康危機管理対策協議会（11月20日）

エボラ出血熱対策について協議を行った。（藤本）

6 第2回山口県障害者施策推進協議会（11月20日）

山口県障害福祉サービス実施計画（第4期）の素案について協議を行った。
（今村）

7 下関市医師会との懇談会（11月21日）

災害時医療救護体制、医師会への会員加入促進対策、地域包括ケアへの取組み

等について説明後、下関市医師会から協議題として提案のあった、新たな財政支援制度事業の今後の対応について意見交換を行った。(河村)

8 山口県医師会産業医研修会・産業医部会総会(11月22日)

研修会は、山口労働局健康安全課の田中俊明 課長より「労働衛生行政の動向について」、鎗田労働衛生コンサルタント事務所の鎗田圭一郎 所長より「産業医から見た双極性障害」の講演2題が行われた。平成26年度産業医部会総会は、山縣部会長により平成25年度事業報告及び決算報告、平成26年度事業計画について説明が行われ、承認された。受講者98名。(藤本、沖中)

9 勤務医部会市民公開講座「岩国市」(11月22日)

山口県医師会勤務医部会、岩国市医師会、岩国医療センターの共催により「知っておきたい『心血管病』にならないためのコツ」をテーマに第一部「心血管病の原因について」、第二部「普段の生活のコツ」の講演が行われ、その後、パネルディスカッションが行われた。参加者約350名で大変盛会であった。(加藤)

10 健康スポーツ医学実地研修会(11月23日)

川崎医療福祉大学医療技術学部健康体育学科の小野寺 昇 教授による特別講演「ウォーキングおよびジョギングとエネルギー効率の関連性」の後、実地研修として防府市内のウォーキングを行った。参加者19名。(濱本)

11 山口労災病院講演会(11月25日)

医事紛争防止研修会として、勤務医、看護師、事務職員、その他医療従事者を対象に「医療安全：最近の訴訟を中心に」の講演を行った。(林)

12 山口県医療対策協議会医師配置調整部会(11月26日)

平成27年度の医師修学資金貸与者の配置方針について協議を行った。(小田)

13 日医第1回社会保険診療報酬検討委員会(11月26日)

委員長・副委員長を選任後、委員会の進め方、小委員会の設置等について審議を行った。今後、日医会長からの諮問事項「①平成26年度診療報酬改定の評価」「②現在の診療報酬における問題点とその対応」の答申に向けて準備を行っていく。(萬)

14 第74回中国地方社会保険医療協議会山口部会(11月26日)

医科では新規申請はなく、更新申請のみが承認された。(小田)

15 第33回介護保険対策委員会・関係者合同協議会(11月27日)

医療と介護の連携について協議後、平成27年度介護報酬改定に向けての意見交換を行った。(船津)

16 第3回学校心臓検診検討委員会（11月27日）

平成24・25年度報告書作成の進捗状況、今年度の精密検査受診票の回収状況及び疑義照会の確認、学校心臓検診精密検査医療機関研修会後に実施するアンケート調査の内容等について協議を行った。（沖中）

17 個別指導「宇部市」（11月27日）

病院1機関について実施され立ち会った。（清水）

18 第1回山口産業保健総合支援センター運営協議会（11月27日）

平成25年度山口産業保健推進連絡事務所事業実施状況、平成26年度山口産業保健活動総合支援センター事業計画・予算計画書及び事業実施状況等について報告が行われた。（小田）

19 山口県学校保健連合会表彰審査委員会（11月27日）

各団体より候補者推薦のあった「学校保健功労者表彰」被表彰者の選定を行った。（小田）

20 研修医・医学生との座談会（11月29日）

「研修医・医学生が何に魅力を感じるか」をテーマに意見交換を行った。（加藤）

21 平成26年度学校医研修会・学校医部会総会・予防接種医研修会・学校心臓検診精密検査医療機関研修会（11月30日）

学校医研修会では、厚生連小郡第一総合病院小児科の白石昌弘先生による「新しい学校腎臓病検診のすすめ方について」、岩国医療センター小児科成育医療診療部長の守分正先生による「小児期から思春期・成人に至るフォローの重要性について」の講演があり、引き続き開催の予防接種医研修会では、総合病院山口赤十字病院小児科第2小児科部長の門屋亮先生による「予防接種をされるすべての先生方へ～水痘・高齢者肺炎球菌の定期化など、最近の話題を交えて～」の講演が行われた。また、学校心臓検診精密検査医療機関研修会では、学校心臓検診検討委員会の砂川博史委員長による「先天性心疾患の術後の長期予後」の講演が行われた。平成26年度学校医部会総会では石川副部長より、平成25年度事業報告及び平成26年度事業計画案が示され、承認された。（藤本）

22 第4回山口刑務所視察委員会（12月1日）

非公開の委員会後、事務局との協議が行われた。（萬）

23 山口大学医師会との懇談会（12月1日）

災害時医療救護体制、医師会への会員加入促進対策、地域包括ケアへの取り組み等について説明を行った。山口大学医師会からは、医師確保問題に関わる要望があり、意見交換を行った。（河村）

24 第3回健康教育委員会（12月4日）

今年度のテキスト「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」の内容について検討した。また、来年度のテーマを「肝疾患」とすることとし、執筆者について協議を行った。（香田）

25 広報委員会（12月4日）

会報主要記事掲載予定（1～3月号）、炉辺談話、tys「スパ特」のテーマ、来年度の県民公開講座等について協議した。（今村）

26 第5回山口県ドクターヘリ運航調整委員会（12月4日）

航空法施行規則第176条の改正に伴うドクターヘリの運航、新病棟屋上ヘリポートに係るドクターヘリ等の運用、中国5県ドクターヘリ広域連携に係る費用負担、平成25年度出動実績等について協議を行った。（弘山）

27 日医第1回医事法関係検討委員会（12月5日）

委員長及び副委員長の選任後、今期委員会の進め方、諮問事項に関する論点等について検討を行った。今後は、日医会長からの諮問事項「医療基本法（仮称）にもとづく医事法制の整備について」の答申に向けて準備を行っていく。（林）

28 日医第2回地域医療対策委員会（12月5日）

中川副会長より「第4回地域医療構想策定ガイドライン等に関する検討会資料」の説明後、高橋委員の講演が行われた。その後、模擬協議の場、今後の審議の進め方等について協議を行った。（弘山）

29 日医家族計画・母体保護法指導者講習会（12月6日）

厚生労働省社会・援護局の鈴木俊彦 局長による講演「人口減少社会の克服～妊娠・出産から子育てへの切れ目ない支援システムの構築～」に続き、「生殖補助医療の法制化に向けた取り組み」をテーマとしたシンポジウムとして、

（1）ARTに関する法制化の議論の状況、（2）議員立法「生殖補助医療の適切な提供の確保に関する法律（案）」の概要、（3）生殖補助医療法制化のあり方と生命倫理、（4）生殖補助医療の現実と法制化への願い、の各講演及び行政の立場からの指定発言が行われた。（藤野）

30 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会（12月10日）

医療費助成事業における審査支払業務の受託に係るアンケート調査の結果等について報告が行われた。（小田）

31 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会（12月10日）

日本医師会医師賠償責任保険の運営に関する経過報告に続いて、宮城・神奈川・島根の各県医師会から、医療事故紛争対策と活動状況の報告が行われた。その後、

医賠責保険制度における「指導・改善委員会」の経過報告及び事前に寄せられていた都道府県医師会からの質疑応答が行われた。(林)

32 日本医師会・日本医学会合同シンポジウム「子宮頸がんワクチンについて考える」(12月10日)

ワクチン推進を求める医師、副反応を懸念する医師がそれぞれ見解を述べ、最後に総合討論が行われた。(藤本)

33 会員の入退会異動

入会1件、退会6件、異動10件。(12月1日現在会員数：1号1,311名、2号894名、3号435名、合計2,640名)

医師国保理事会 第12回

1 第13回「学びながらのウォーキング大会」について(11月23日)

防府市において開催。防府市おもてなし観光課花燃ゆ推進室の岡田元子 室長による特別講演「志士闊歩の地～花燃ゆ ゆかりの地～」の後、萩往還や英雲荘を経由し、桑山に登る約6kmのコースをウォーキングした。参加者89名。(沖中)

2 中国四国医師国保組合事務連絡会について(12月5日)

本組合担当により山口市で開催。厚生労働省国民健康保険課の佐々木 功 課長補佐による講演「国民健康保険組合を巡る現状と課題」の後、全体会議において、事例発表及び各県から提出された議題について協議を行った。(小田、沖中)

3 傷病手当金支給申請について

2件について協議、承認。

4 規約の一部改正について

国保組合格約の一部改正に伴い、理事の専決処分により、規約第14条(出産育児一時金)を改正することを議決した。